

令和5年度 シラバス

教科	公民	科目	倫理	単位数	2	履修学年	3学年	学科・コース	文型																				
教科書	高等学校 新倫理 (清水書院)			副教材等	フォリア最新倫理資料集 (第一学習社)			担当者	小松崎																				
1. 科目の目標				2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー																						
<ul style="list-style-type: none"> 人間の在り方・生き方を、自己と他者の両面から考える。 ギリシャ思想, キリスト教, 仏教, 儒教などの代表的な先哲の思想を手掛かりとして人間とは何かを考える。 日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、外国との歴史的地理的関わりを通して理解する。 西洋近代思想を手掛かりとして「人間の尊厳」や「社会のあり方」「自然と科学技術と人間のかかわり」について 考えを深める。 現代の諸事象について、倫理的視点から主体的に課題を見だし探究する。 				<ul style="list-style-type: none"> 年4回ワークノートを課すので、必ず提出すること。評価に含めます。ノートは板書を書き写すためというだけでなく、自分で学習内容をまとめたり、授業中にメモしたり、各自自由に作成してください。 共通テストの科目として考えている人は、講習も利用しながら得点力を高めていく。 			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>知識・技能</td> <td>思考・判断・表現</td> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td>傾聴力</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>思考力</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>協働力</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>先見力</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○	○	協働力			○	先見力		○	○
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																										
傾聴力	○		○																										
思考力	○	○	○																										
協働力			○																										
先見力		○	○																										

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	第1編 現代に生きる自己の課題 第1章 人間とは何か 第2章 青年期の課題と自己形成 第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 古代ギリシャ思想 第2章 人生における宗教 1 キリスト教 2 イスラーム 3 仏教 第3章 人生の知恵 第4章 人生における芸術	16	<ul style="list-style-type: none"> 人間の基本的なあり方について、思想家や宗教の重要性について自覚を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想などについて、その理解を深め、その解釈や考え方を表現することができる。 倫理の観点から、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容に対して高い関心と意欲を持って主体的に学習に取り組もうとしている。 倫理について、問題意識を高め、課題解決への考察に積極的に取り組もうとしている。 定期的に学習状況を振り返り、自分なりの効果的な学習方法へ改善しようとしている。
			【評価方法】 定期考査・ワークシート	【評価方法】 定期考査・ワークシート	【評価方法】 定期考査・ワークシート
6 7 8 9	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題 第2章 現代に生きる人間の倫理 1 人間の尊厳 2 自然や科学技術と人間のかかわり 3 民主社会における人間のあり方 4 自己実現と幸福 5 個人と社会のかかわり 6 現代における理性の問題 第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と外来思想の受容 1 日本の風土と伝統 2 仏教の伝来と隆盛 3 儒教の日本化 4 日本文化と国学 5 近世庶民の思想 6 西洋近代思想の受容	【22】	<ul style="list-style-type: none"> 人間の基本的なあり方について、思想家や宗教の重要性について自覚を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想などについて、その理解を深め、その解釈や考え方を表現することができる。 倫理の観点から、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容に対して高い関心と意欲を持って主体的に学習に取り組もうとしている。 倫理について、問題意識を高め、課題解決への考察に積極的に取り組もうとしている。 定期的に学習状況を振り返り、自分なりの効果的な学習方法へ改善しようとしている。
		【22】	【評価方法】 定期考査・ワークシート	【評価方法】 定期考査・ワークシート	【評価方法】 定期考査・ワークシート

9 10 11	第5編 現代の諸課題と倫理 第1章 生命と倫理 第2章 環境と倫理 第3章 現代の家族とその課題 第4章 地域社会の変容と共生 第5章 情報社会とその課題 第6章 グローバリ化の時代と倫理 第7章 人類の福祉と国際平和		・人間の基本的なあり方について、思想家や宗教の重要性について自覚を深めることができる。	・先哲の思想などについて、その理解を深め、その解釈や考え方を表現することができる。・倫理の観点から、多面的・多角的に考察し、表現することができる。	・授業内容に対して高い関心と意欲を持って主体的に学習に取り組もうとしている。 ・倫理について、問題意識を高め、課題解決への考察に積極的に取り組もうとしている。 ・定期的に学習状況を振り返り、自分なりの効果的な学習方法へ改善しようとしている。
		【17】	【評価方法】 定期考査・ワークシート	【評価方法】 定期考査・ワークシート	【評価方法】 定期考査・ワークシート
12 1	共通テスト対策				
	夏期講習(7月)現代の諸課題と倫理 冬期講習(12月)問題演習中心				
		【21】	【評価方法】	【評価方法】	【評価方法】
	合計	108			